

学習指導要領		都立六本木高校 学カスタンダード
(1) 私生活の社会	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な地球環境問題の発生要因と、その問題が地球に及ぼす影響を理解する。 ・ 世界が行っている地球環境問題への対策について学ぶ。 ・ 地球環境問題の解決に向けて、自分たちにできることを考察する。 ・ 新エネルギーについて、風力や火力などの現存の発電方法についての問題を学び、理解を深める。
(2) 現代社会と人間としての在り方	<p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成 生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義 基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年期が自己形成にとって重要な時期であることを自覚し、青年期の特徴やこの時期の発達課題がどのようなものであるかについて理解する。 ・ 職業生活や社会参加の種類について理解する。 ・ 個人の権利や自由について理解する。 ・ 個人の権利や自由を守るために、国家に期待されてきた役割の変遷を理解する。 ・ 国民を代表する機関として国会が政治の中心となり、民主政治を実現していくという議会制民主主義の本質を理解する。 ・ 国会の組織・構成を理解させるとともに、衆議院の優越について、二院制の意義と関連させながら考える。 ・ 議院内閣制の仕組みと内閣の担当する権限を理解する。 ・ 紛争処理の仕組みである裁判を通じて、基本的人権の保障を個別に実現する仕組みを理解する。

学習指導要領	都立六本木高校 学カスタンダード
<p>ウ 個人の尊重と法の支配 個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p> <p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割 グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 法の支配の基本的な考え方を通じて、市民革命以降の近代国家の目的が、基本的人権の保障にあることを理解する。 • 日本国憲法の基本原理を明治憲法と比較しながら理解するとともに、憲法の基本原理の意義について考える。 • 日本国憲法には平和主義の理念が盛り込まれ、それを達成するために第9条が定められたことを理解する。 • 人権を確保するための権利と平等権について現代の問題点を考える。 <ul style="list-style-type: none"> • 経済社会とは、財とサービスの生産・流通・消費を結び付けあう、貨幣などを仲立ちとした交換の会計によって成り立つものであることを理解する。 • 資本主義と社会主義の違いを理解する。 • 価格機構の機能やはたらきについて理解する。 • 景気変動が資本主義、経済の必然的現象であることを理解する。 • 財政政策の目的と運用の仕組みを理解する。 • 金融機関と日本銀行の役割について理解する。 • • <ul style="list-style-type: none"> • 国際的な協力が必要になった原因を知り、国際機関が設置された理由を理解する。 • 南北問題の現状を認識させ、その原因について知る。国際的な貧困や格差について知り、発展途上国の工業とそれを行うための問題について理解する。

学習指導要領		都立六本木高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p>	<p>割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p> <p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 様々な環境問題や社会問題の発生原因を知り、持続可能な社会の形成へのかかわりについて考える。